

2016年度 ルール変更 対照表  
スポーツルール総則

変更前の内容	変更後の内容
	ルール変更対照表には、内容の変更があった箇所のみ記載しています。
<p>スペシャルオリンピックスの使命、ゴールおよび設立理念は、ゼネラルルール第1条に記載されている。</p>	<p>スペシャルオリンピックスの使命は、知的障害のある人たちに年間を通じて、オリンピック競技種目に準じたさまざまなスポーツトレーニングと競技の場を提供し、参加したアスリートが健康を増進し、勇気をふるい、喜びを感じ、家族や他のアスリートそして地域の人々と、才能や技能そして友情を分かち合う機会を継続的に提供することである。</p> <p>スペシャルオリンピックスの使命、ゴールおよび設立理念は、ゼネラルルール第1条に記載されている。</p>
<p>セクション B — スペシャルオリンピックスへの参加条件 (補足 C 参照)。</p>	<p>3.スペシャルオリンピックスへの参加条件</p> <p>&lt;削除&gt;</p>
<p>セクション C — 行動規範</p> <p>3.スポーツマンらしからぬ行為</p> <p>競技審判の指示に従わなかったもの、スポーツマンらしからぬマナーがあったもの、競技会において審判、観客、競技者に対して言葉や行動で攻撃的だったいかなる競技者も、競技審判により、その後の競技会において失格とされることがある。</p>	<p>4.行動規範</p> <p>4.3 スポーツマンらしからぬ行為</p> <p>競技審判の指示に従わなかったもの、スポーツマンらしからぬマナーがあったもの、競技会において審判、観客、競技者に対して言葉や行動で攻撃的だったいかなる競技者も、競技審判か Jury により、その後の競技会において失格とされることがある。</p>
<p>セクション D — スペシャルオリンピックス競技の区分</p> <p>3.公式競技</p> <p>夏季公式競技</p> <p>水泳競技(競泳)(オープンウォータースイミング)、陸上競技、体操競技、バスケットボール、バドミントン、ボッチャ、ボウリング、自転車、馬術、フットボール(サッカー)、ゴルフ、ハンドボール、柔道、新体操、パワーリフティング、ローラースケート、セーリング、ソフトボール、卓球、テニス、バレーボール(屋内)(ビーチバレーボール)</p>	<p>5.スペシャルオリンピックス競技の区分</p> <p>5.3 公式競技</p> <p>夏季公式競技</p> <p>競泳、オープンウォータースイミング、陸上競技、体操競技、バスケットボール、バドミントン、ボッチャ、ボウリング、自転車、馬術、フットボール、ゴルフ、ハンドボール、柔道、新体操、パワーリフティング、ローラースケート、セーリング、ソフトボール、卓球、テニス、バレーボール</p>



<p><b>セクション F — 医療および安全面の要件</b></p> <p><b>3.コーチの責任</b></p> <p>コーチは全てのアスリートの健康と安全を最優先に考えなければならない。これはスペシャルオリンピックスのスポーツチームに参加する適切なアスリートを選出するためには、特に重要となるポイントである。</p> <p>他のチームメンバーと比べて技術や体格が極めて異なる個人については、競技に参加することで自身や他のメンバーに危険を及ぼす可能性があるという理由で、スペシャルオリンピックスのチーム競技への参加が禁止される場合がある。</p>	<p><b>7.医療および安全面の要件</b></p> <p><b>7.3 コーチの責任</b></p> <p>7.3.1 コーチの最優先事項は、アスリートの健康と安全である。コーチは、SOIと認定プログラムによって定められた医療安全協定を守らなければならない。</p> <p>7.3.2 技術や体格や年齢が異なるアスリートを同じチームに置くことのリスクについてコーチは考慮しなければならない。もし安全面でリスクがある場合、リスクを減らすために、そのアスリートが自分に合った他の練習や競技会の機会を探すことを手伝わなければならない。</p>
<p><b>セクション G — ルール委員会</b></p> <p><b>1.大会ルール委員会</b></p> <p>競技運営にあたって責任のある各国認定プログラムは、その競技会で実施される競技ごとにスポーツルール委員会（ジュリー）と大会ルール委員会（上訴審査会）を任命しなければならない。大会ルール委員会（上訴委員会）は該当競技におけるジュリーやスポーツルール委員会が却下された抗議を扱うものとする。</p> <p><b>3.抗議や上訴</b></p> <p>ヘッドコーチ（ヘッドコーチが不在の場合はヘッドコーチが指名した人）は、大会責任者によって設定された手順に基づき抗議、上告を申請することができる。</p>	<p><b>8.ルール委員会</b></p> <p><b>8.1 ジュリー/大会ルール委員会</b></p> <p>競技運営にあたって責任のある各国認定プログラムおよび大会組織委員会は、その競技会で実施される競技ごとにスポーツルール委員会（ジュリー）と大会ルール委員会（上訴審査会）を任命しなければならない。大会ルール委員会（上訴委員会）は該当競技におけるジュリーやスポーツルール委員会が却下された抗議を扱うものとする。</p> <p><b>8.3 抗議や上訴</b></p> <p>8.3.1 ヘッドコーチ（ヘッドコーチが不在の場合はヘッドコーチが指名した人）は、抗議、上告を申請することができる。</p> <p>8.3.2 抗議は以下の理由を1つ以上満たす必要がある</p> <p>8.3.2.1 スポーツルールを誤って解釈している</p> <p>8.3.2.2 レフェリーや審判が正しいルールを適用し損なう</p> <p>8.3.2.3 反則に対して正しいペナルティが課せられていない</p> <p>8.3.3 以下は抗議または上訴の対象ではない</p> <p>8.3.3.1 事実に基づいたレフェリーや審判の判断</p> <p>8.3.3.2 デイビジョニングや重要な関与事項</p> <p>8.3.4 抗議は、SOのスポーツルールや競技団体のルールの該当するセクション番号とどのように違反し</p>

	<p>ているかを明確に示さなければならない。</p> <p>8.3.5 スポーツルール委員会は抗議を見直さなければならない。一度スポーツルール委員会が決定をくだしたら、抗議をした人はその決定に従うか、大会ルール委員会に上訴するかのどちらかである。上訴はスポーツルール委員会の判断から 60 分以内でなくてはならない。大会ルール委員会によって行われたすべての決定は最終的なものである。</p>
<p><b>セクション H — 競技会参加の年齢条件とグループ分け</b> <b>2.年齢グループ</b></p> <p>すべてのスペシャルオリンピックス競技会において、通常次の年齢グループを適用する。</p>	<p><b>9.競技会参加の年齢条件とグループ分け</b></p> <p>9.2 年齢グループ</p> <p>&lt;削除&gt;</p>
<p><b>セクション I — スペシャルオリンピックスのディビジョニング</b></p> <p>各アスリートに対して最も威厳のある、そしてやりがいのある競技会経験を提供するという目的に基づき、大会責任者は基準に対する変更案について協議し、これらの基準に対して例外を認めるかどうか、最終的な判断を下す。また、大会責任者はディビジョンおよびそれらの基準に対する変更について、最終的な決定権限を持つ。なお、ディビジョニングに関する抗議は一切認められない。</p>	<p><b>10.スペシャルオリンピックスのディビジョニング</b></p> <p>&lt;削除&gt;</p> <p>※10.5.1.3.3 に同じ文章あり</p>
<p><b>セクション K — 表彰</b></p> <p><b>5.チーム競技</b></p> <p>b. ある種目に男性チーム、または女性チームが 1 チームしかおらず、異性チームのディビジョンに分けられていた場合、このチームはその成果に対して第 1 位の表彰を受けることもできる。</p>	<p><b>12.表彰</b></p> <p>12.5 チーム競技</p> <p>12.5.2 アスリートまたはチームが、異性のディビジョンに分けられていた場合、そのディビジョンの中の順位で表彰される。</p>
<p><b>セクション L— 上位レベルの競技会への進出条件</b></p> <p><b>2.進出条件</b></p> <p>2) 競技会や大会に出場する機会が全くなかったアスリートまたはチームは、次のレベルの競技会に出場する資格がある。</p>	<p><b>13.上位レベルの競技会への進出条件</b></p> <p>13.2.進出条件</p> <p>13.2.1.2 競技会や大会に出場する機会が全くなかったアスリートまたはチームは、次の事項を 1 つ以上満たしている場合、次のレベルの競技会に出場する資格がある。</p> <p>13.2.1.2.1 アスリートやチームの登録が少ない場合</p> <p>13.2.1.2.2 公平な競技会を提供する機会が少ない、</p>

	<p>もしくはない場合</p> <p>13.2.1.2.3 競技会を開催するには法外な費用かかる場合</p> <p>13.2.1.2.4 アスリートやチームが規模の大きな競技会を経験していたりトレーニングをしている場合</p>
<p>スペシャルオリンピックス・ユニファイドスポーツ® 競技パラメーター 個人競技 水泳競技</p>	<p>スペシャルオリンピックス・ユニファイドスポーツ® 競技パラメーター 個人競技 競泳 オープンウォータースイミング</p>
<p>補足 A – スポーツルール諮問委員会 (SRAC) 2.補足 A.2 – スポーツリソースチーム (SRTs) 6) スペシャルオリンピックスの基本理念が、全てのスポーツルールにおいて維持されるよう留意し、確実なものとする。</p> <p>補足 B – 国際競技連盟 水泳競技</p> <p>ボウリング World Tenpin Bowling Association Internet: <a href="http://www.worldtenpinbowling.com">www.worldtenpinbowling.com</a></p>	<p>補足 A – スポーツルール諮問委員会 (SRAC) A.2 – スポーツリソースチーム (SRTs) &lt;削除&gt;</p> <p>A.3-グローバルユニファイドスポーツ顧問会(GUSAG)</p> <p>1. GUSAG はユニファイドスポーツの成果であるソーシャルインクルージョン(社会的包摂)に深い理解がある人たちが構成される。</p> <p>1)SRAC は GUSAG と協力し、ユニファイドスポーツのルール変更案について検討する。</p> <p>2)GUSAG は SRAC に提言する。</p> <p>2. GUSAG のメンバーの責任は、以下のものを含むが、これに限定されるものではない。</p> <p>1)ユニファイドスポーツルール変更案について検討し、SRAC へ提言する。</p> <p>2)ユニファイドスポーツの基本原則を正確に反映した全てのルールを保障する。</p> <p>補足 B – 国際競技連盟 競泳 オープンウォータースイミング</p> <p>ボウリング World Bowling Internet: <a href="http://www.worldbowling.org">www.worldbowling.org</a></p>